

事業報告書

1. 法人の概要

法人の名称 学校法人 朝陽学院
 所在地 〒545-0002
 大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8番19号
 設立 大正4年8月19日

1.1 建学の精神

『人徳を経とし、実務を緯とする』を礎とした人財の育成

1.2 学校法人の沿革

(1)法人の沿革

大正 4年 8月 19日 小西薬剂学校校舎建設用地取得、創設準備
 大正 6年 12月 5日 私立小西薬剂学校開校
 昭和 3年 4月 9日 大阪小西女子商業学校設立
 昭和 4年 3月 13日 大阪女子商業学校認可
 昭和 8年 4月 4日 財団法人小西学園に組織変更
 昭和 26年 3月 13日 学校法人朝陽学院に組織変更

(2)学校の沿革

昭和 3年 4月 9日 大阪小西女子商業学校設立
 昭和 4年 3月 13日 大阪女子商業学校認可
 昭和 4年 5月 1日 大阪女子商業学校を開校
 昭和 6年 9月 1日 現在地に移転
 昭和 21年 12月 20日 朝陽幼稚園設置認可
 昭和 22年 4月 1日 朝陽中学校に改称
 昭和 23年 4月 1日 朝陽高等学校を設置、附属中学校を設置
 昭和 25年 1月 17日 朝陽高等学校附属幼稚園設置認可
 昭和 27年 12月 1日 大阪女子商業高等学校、同附属中学校、同附属幼稚園に名称変更
 平成 7年 4月 1日 大阪女子高等学校、同附属中学校、同附属朝陽幼稚園に名称変更
 平成 18年 3月 31日 大阪女子高等学校附属中学の廃止認可
 平成 26年 4月 1日 女子高から男女共学校に移行し、あべの翔学高等学校に名称変更

1.3 設置する学校・学科等

No.	学校	学科等	所在地
1	あべの翔学高等学校	全日制課程 普通科/商業科	〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19 TEL 06-6719-2801
2	朝陽幼稚園		〒545-0031 大阪市阿倍野区橋本町6-16 TEL 06-6661-2996
3	あべの翔学高等学校 附属朝陽幼稚園		〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-26-32 TEL 06-6719-2710

1.4 学校・学科等の学生数の状況

平成27年5月1日現在 (単位:人)

学校名	No.	学則定員数	現員数	摘要
あべの翔学高等学校	普通科	1	960	792
	商業科	2	480	27
	小計	3	1,440	819
朝陽幼稚園	4	175	65	
あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	5	215	166	

1.5 役員及び評議員の概要

平成27年5月1日現在 (単位:人)

区分	No.	定員数	人数	摘要
役員	理事長	1	5~8	1
	理事	2		8
	監事	3	2	2
評議員	4	17	17	

1.6 教職員の概要

平成27年5月1日現在 (単位:人)

No.	区分	教員			職員			合計
		本務	兼務	計	本務	兼務	計	
1	法人本部	-	-	-	3	2	5	-
2	あべの翔学高等学校	51	12	63	2	-	2	63
3	朝陽幼稚園	10	-	10	1	-	1	10
4	あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	13	-	13	2	-	2	13
5	合計	74	12	86	8	2	10	86

2. 事業の概要

2.1 あべの翔学高等学校

(1)事業の概要

以下を基本方針とし、教育活動を行っています。

- ①「進学を目指すあべの翔学」として共学に移行した。今後ともこの方針を継続し、将来的な目標として中堅の進学校を目指す。
- ②学力だけではなく「こころ」の面での成長を大切に、生活指導面での厳しくもきめ細やかな指導をとおして社会生活に適切に対応し、活躍できる教育活動を実践する。
- ③学校行事や文化行事などとおして、豊かな「こころ」を育む人間教育を実践する。

(2)主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①生活指導

共学2年目を迎え生徒も教員も慣れてきたこともあり、平成26年度に比べ落ち着きを取り戻した感がありました。但し、遅刻の状態化、制服(ネクタイ・リボン着用)の正しい着用等、問題は顕在化してきました。これに対して、「遅刻重点指導週間」(2月29日～3月8日)を設け、全教員が主体となって遅刻対応、生活指導を徹底しました。これにより一定の効果は見られますが、「遅刻重点指導週間」を継続すると共に、制服、頭髪指導も徹底し、マナー向上に努めて参ります。

②入試対策

平成26年度入学者519名に対し、平成27年度は入学者251人と入学者数は半減しましたが、これは収容能力に応じて募集人員を減らしたためです。

平成27年度から「文理特進コース」「普通進学コース(選抜クラス)」「普通進学コース(進学クラス)」の3コースに重点化し、全生徒の潜在能力を最大限引き出すための授業カリキュラムと自学自習指導を行って参りました。

③進路指導

平成28年2月27日、旧大阪女子高等学校最後の卒業生136人を送り出しました。

進路先は大学・短大への進学45名専修学校各種学校42名、就職他49名です。

平成29年3月には共学1期生の卒業を迎えるにあたり、生徒・保護者への進路指導を前倒し実施して参ります。

2.2 朝陽幼稚園及びあべの翔学高等学校附属幼稚園

(1)事業の概要

以下を基本方針とし、教育活動を行っています。

- ①心身ともに健康で基本的な生活習慣を身につける。
- ②一人一人の個性を大切に、人間性豊かな創造力を育てる。
- ③正しいことは勇気をもってやりぬく実行力を育てる。
- ④思いやりをもってだれとでもなかよく遊べるように育てる。
- ⑤社会に貢献する人格の形成をめざす。

(2)主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①英語教育の充実

幼児期に言語野が最も発達することから、保育時間内に年18回のネイティブによる英語教室を開催し、小学校の英語教育で遅れをとらないようにする。

②耐震補強工事の完了(あべの翔学高等学校附属幼稚園)

平成28年2月に耐震補強工事が完成し引渡しを受けました。

これにより、園児の安全確保のみならず地域防災活動の拠点として活動して参ります。

2.3 施設等の状況

(1)現有施設設備の所在地等

主な施設設備の状況は次のとおりである。

(単位: m²)

No.	学校名	校地面積	校舎面積	摘要
1	あべの翔学高等学校	9,057	11,245	東館校舎2,514m ² は現在使用していない
2	朝陽幼稚園	1,254	1,026	
3	あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園	1,249	1,012	

(2)主な施設設備の取得及びその進捗状況

①あべの翔学高等学校

(単位: 千円)

No.	項目	目的等	取得時期	金額
1	校内ネットワーク機器	教職員用サーバ設置による校内情報システム構築	平成27年9月	17,859
2	校務システム	出欠管理、成績管理等の校務情報システム構築	平成28年2月	6,912
3	学費納入システム	学費納入管理システムカスタマイズ	平成28年2月	2,900
4	剣道場エアコン交換	経年劣化に伴うエアコン交換	平成28年3月	4,289
5	本館教室換気扇新設	本館2階・3階教室(11室)の換気扇設置	平成28年3月	1,763
6	その他	経年劣化に伴う施設設備交換、他	-	4,029
7	合計		-	37,752

②朝陽幼稚園

(単位: 千円)

No.	項目	目的等	取得時期	金額
1	園舎3階トイレ改修工事	経年劣化に伴うトイレ改修	平成27年9月	3,200
2	その他	経年劣化に伴う施設設備交換、他	-	1,085
3	合計		-	4,285

③あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

(単位: 千円)

No.	項目	目的等	取得時期	金額
1	園舎耐震工事	園舎の耐震補強工事	平成28年2月	27,324
2	ゴムチップマット舗装	経年劣化に伴う園庭ゴムチップマット舗装	平成28年3月	1,211
3	その他	経年劣化に伴う施設設備交換、他	-	941
4	合計		-	29,476

3. 財務の概要

3.1 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は当該会計年度における収入と支出の内容を明らかにし資金の流れを明らかにしたものです。

前年度繰越支払資金5億9153万円を含めた平成27年度の収入の部合計は、21億4305万円(前年度比△9億2502万円)、支出の部合計は15億6923万円(前年度比△9億729万円)、この結果、平成28年度への繰越支払資金は5億7381万円(当年度比△1772万円)となっています。主な対前年度の増減要因は以下のとおりです。

(収入の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	補助金収入	796,814	609,572	-187,242	前年度の高校耐震工事補助金181,000千円減
2	借入金収入	1,374,400	351,200	-1,023,200	前年度の高校耐震工事つなぎ融資400,000千円減
3	資金収入調整勘定	-305,266	-70,118	235,148	前年度の未収入金△210,611千円減

(支出の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	施設関係支出	434,175	43,151	-391,024	前年度の高校耐震工事代金支払426,600千円減
2	資産運用支出	375,000	0	-375,000	2年生生徒減による修学旅行費積立預金の減少
3	その他の支出	237,259	58,130	-179,129	前年度の未払金支払支出237,239千円減

3.2 消費収支計算書の概要

消費収支計算書は当該会計年度の消費収支の内容と均衡状態を示し、経営状況を明らかにしたものです。

平成27年度の帰属収入合計は、9億9813万円(対前年度比△2億1656万円)、基本金組入額7578万円を控除した消費収入の部合計は9億2235万円(対前年度比△2億9234万円)です。消費支出の部は8億6726万円(対前年度比1億3506万円増)で、当年度消費収入超過額は5508万円(対前年度比△4億2741万円)であります。

この結果、基本金取崩額3億6517万円を含めた翌年度繰越消費支出超過額は12億6225万円となっています。

主な対前年度の増減要因は以下のとおりです。

(消費収入の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	学生生徒等納付金	344,650	311,766	-32,884	高校生生徒数減△22名(前年度841名→819名)
2	補助金収入	796,814	609,572	-187,242	前年度、高校耐震工事補助金181,000千円
3	基本金組入額	0	-75,780	-75,780	当年度は組入額、取崩額の両建て表示

(消費支出の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	教育研究経費	171,252	197,692	26,440	高校工事(耐震、省エネ)償却費18,748千円増
2	資産処分差額	85	93,591	93,506	東館校舎有姿除却損失
3	基本金取崩額	70,084	365,173	295,089	東館校舎有姿除却に伴う基本金取崩

3.3 貸借対照表の概要

貸借対照表は年度末における資産・負債・基本金および収支差額を把握し財政状態を分析するものです。

平成27年度の資産の部合計は43億9958万円(対前年度末比△3億6798万円)、その内流動資産が対前年度末比△2億838万円が主な偏差です。負債の部合計は4億6019万円(対前年度末比△4億9885万円)、その内、流動負債が対前年度末比△4億6517万円が主な偏差です。

この結果、基本金減少△2億8939万円を含めた、翌年度繰越消費支出超過額は△12億6225万円(対前年度末比4億2026万円)と大幅に改善しました。

主な対前年度末の増減要因は以下のとおりです。

(資産の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	有形固定資産	3,591,844	3,483,074	-108,770	東館校舎有姿除却損 93,591千円
2	未収入金	210,695	20,012	-190,683	本館耐震工事補助金の入金による減

(負債の部)

(単位:千円)

No.	科目	前年度	当年度	増減	内容
1	長期未払金	0	12,204	12,204	ファイナンス・リース未払残高(支払期日1年超)
2	短期借入金	400,000	0	-400,000	共済事業団融資実行までのつなぎ融資
3	基本金	5,491,037	5,201,644	-289,393	東館校舎有姿除却による取崩△365,173千円

3.3 経年比較

(1)資金収支計算書

(単位:千円)

No.	収入の部	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	当年度	対前年度比
1	学生生徒等納付金収入	219,812	202,276	184,060	344,650	311,766	-32,884
2	手数料収入	7,025	6,506	21,603	16,071	12,660	-3,411
3	寄付金収入	9,292	6,759	3,010	8,336	4,581	-3,755
4	補助金収入	368,882	389,351	403,392	796,814	609,572	-187,242
5	資産運用収入	3,609	4,088	3,314	4,901	3,941	-960
6	事業収入	2,687	3,397	10,793	12,664	36,342	23,678
7	雑収入	78,107	11,857	158,702	31,261	19,271	-11,990
8	借入金等収入	-	-	130,000	1,374,400	351,200	-1,023,200
9	前受金収入	23,420	23,037	94,655	50,617	22,457	-28,160
10	その他の収入	558,609	979,751	1,182,913	532,640	249,839	-282,801
11	資金収入調整勘定	-110,689	-32,836	-163,342	-305,266	-70,118	235,148
12	前年度繰越支払資金	116,379	89,837	197,422	200,988	591,539	390,551
13	収入の部 合計	1,277,133	1,684,023	2,226,522	3,068,076	2,143,050	-925,026
No.	支出の部	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	当年度	対前年度比
14	人件費支出	584,622	457,826	677,380	495,109	502,636	7,527
15	教育研究経費支出	102,435	89,754	109,025	116,797	120,415	3,618
16	管理経費支出	39,817	37,534	54,916	66,646	74,134	7,488
17	借入金等利息支出	4,140	3,505	2,922	2,641	2,507	-134
18	借入金等返済支出	27,500	27,500	157,500	777,500	771,204	-6,296
19	施設関係支出	23,683	-	24,010	434,175	43,151	-391,024
20	設備関係支出	10,618	8,357	13,862	28,256	14,485	-13,771
21	資産運用支出	516,000	702,000	1,137,000	375,000	0	-375,000
22	その他の支出	49,698	203,900	89,269	237,259	58,130	-179,129
23	資金支出調整勘定	-171,217	-43,775	-240,350	-56,846	-17,423	39,423
24	次年度繰越支払資金	89,837	197,422	200,988	591,539	573,811	-17,728
25	支出の部 合計	1,277,133	1,684,023	2,226,522	3,068,076	2,143,050	-925,026

(2)消費収支計算書

(単位:千円)

No.	消費収入の部	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	当年度	対前年度比
1	学生生徒等納付金	219,812	202,276	184,060	344,650	311,766	-32,884
2	手数料	7,025	6,506	21,603	16,071	12,660	-3,411
3	寄付金	9,292	6,759	3,010	8,336	4,581	-3,755
4	補助金	368,882	389,351	403,392	796,814	609,572	-187,242
5	資産運用収入	3,609	4,088	3,314	4,901	3,941	-960
6	事業収入	2,687	5,755	10,793	12,664	36,342	23,678
7	雑収入	78,107	11,857	159,382	31,262	19,271	-11,991
8	帰属収入合計	689,414	626,592	785,554	1,214,698	998,133	-216,565
9	基本金組入額合計	-44,880	-31,983	-45,900	-	-75,780	-75,780
10	消費収入の部合計	644,534	594,609	739,654	1,214,698	922,353	-292,345
No.	支出の部	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	当年度	対前年度比
11	人件費支出	566,737	460,126	643,763	489,284	497,202	7,918
12	教育研究経費	159,335	148,031	173,166	171,252	197,692	26,440
13	管理経費	43,776	39,067	57,012	68,935	76,273	7,338
14	借入金等利息	4,140	3,505	2,922	2,641	2,507	-134
15	資産処分差額	-	-	-	85	93,591	93,506
16	徴収不能引当金繰入額	-	-	49	-	-	-
17	消費支出の部合計	773,988	650,729	876,912	732,197	867,265	135,068
18	当年度消費支出超過額	-129,454	-56,120	-137,258	482,501	55,088	-427,413
19	前年度繰越消費支出超過額	-1,912,272	-2,041,726	-2,097,846	-2,235,104	-1,682,519	552,585
20	基本金取崩額	-	-	-	70,084	365,173	295,089
21	翌年度繰越消費支出超過額	-2,041,726	-2,097,846	-2,235,104	-1,682,519	-1,262,258	420,261

(3)貸借対照表

(単位:千円)

No.	科目	平23年度末	平24年度末	平25年度末	平26年度末	当年度末	対前年度比
1	固定資産	3,766,996	3,556,498	3,527,658	3,952,259	3,792,663	-159,596
2	流動資産	183,442	219,289	356,671	815,305	606,917	-208,388
3	資産の部 合計	3,950,438	3,775,787	3,884,329	4,767,564	4,399,580	-367,984
4	固定負債	264,962	243,832	177,553	409,309	375,635	-33,674
5	流動負債	243,965	114,581	380,759	549,737	84,559	-465,178
6	負債の部 合計	508,927	358,413	558,312	959,046	460,194	-498,852
7	基本金の部 合計	5,483,238	5,515,220	5,561,121	5,491,037	5,201,644	-289,393
8	消費収支差額の部 合計	-2,041,727	-2,097,846	-2,235,104	-1,682,519	-1,262,258	420,261
9	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	3,950,438	3,775,787	3,884,329	4,767,564	4,399,580	-367,984

3.4 財務指数の状況

(1)主な財務比率比較

(単位:%)

No.	項目	算式	平23年度	平24年度	平25年度	平26年度	当年度
1	帰属収支差額比率	(帰属収入－消費支出)÷帰属収入	-12.3	-3.9	-11.6	39.7	13.1
2	消費収支比率	消費支出÷消費収入	120.1	109.4	118.6	60.3	94.0
3	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金÷帰属収入	31.9	32.3	23.4	28.4	31.2
4	人件費比率	人件費÷帰属収入	82.2	73.4	82.0	40.3	49.8
5	自己資金構成比率	自己資金 ※1÷総資産 ※2	87.1	90.5	85.6	79.9	89.5

※1 自己資金＝基本金＋消費収支差額

※2 総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額

以上